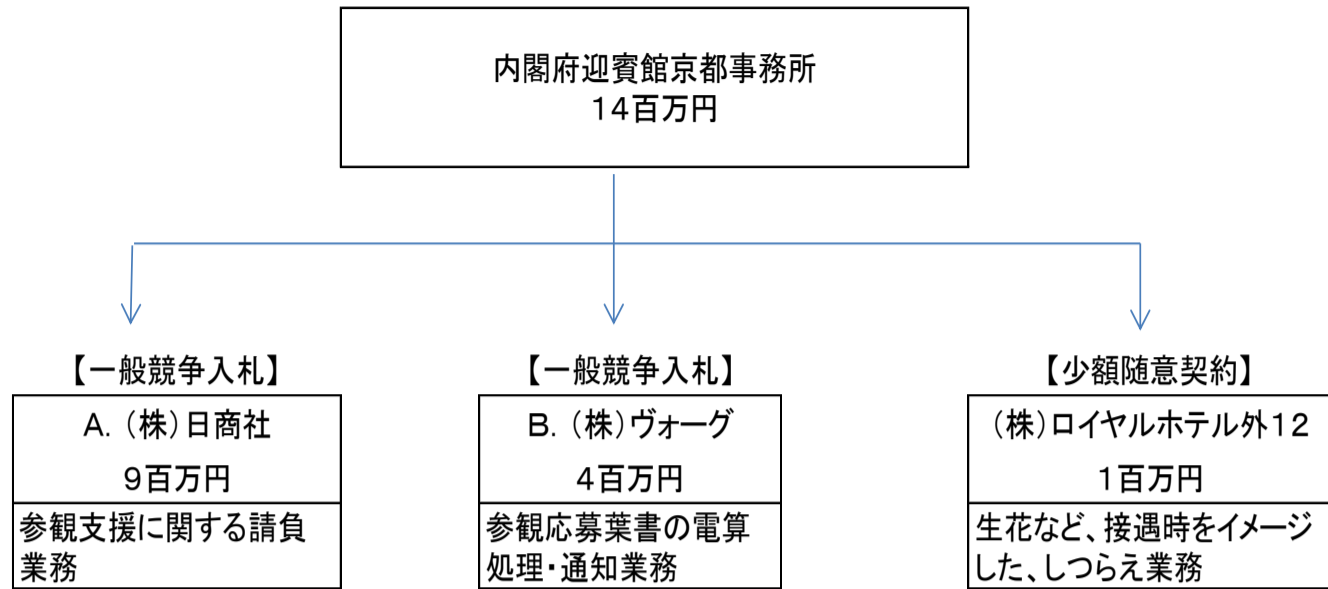


平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	京都迎賓館参観経費	担当部局庁	迎賓館京都事務所	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成17年度	担当課室	迎賓館京都事務所運営課	佐藤 章彦				
会計区分	一般会計	施策名	17-① 迎賓施設の適切な管理・運営					
根拠法令 (具体的な条項も記載)		関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	京都迎賓館は、国公賓等の接遇のための施設であり、施設の性質上、非公開が原則。他方、日本の伝統的技能を生かして建設された価値の高い建築物であることから参観の希望も多いため、公用室等を公開し、迎賓施設・賓客外交等の重要性について広く国民の理解を深めることを目的として実施。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国公賓等の接遇に支障のない時期に参観を実施。参観期間は10日間。参観者定員は、1日あたり1,200名、10日間計12,000人。応募多数の場合は、抽選により参観者を決定。 参観に当たっては、接遇時のしつらいの再現、各種説明パネル等による接遇の様子、京都迎賓館で用いられた伝統技能・伝統技術の説明の展示をするなど、参観の内容を充実させている。 (平成23年度の一般参観については、東日本大震災による被災者や、福島原子力発電所の事故により避難を余儀なくされた方々を対象にした特別参観枠を設けて実施する。)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	12	12	13	13	14	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	3	5	1	-		
		計	15	17	14	13	14	
	執行額	15	17	14				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	参観者への満足度調査における満足の割合 ※目標は、満足の割合80%以上。		成果実績	%	87.2	85.5	88.4	
			達成度	%	100.0	100.0	100.0	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	①参観定員数 ②応募者総数 ※当初見込みは、過去2年の平均数によりそれぞれ算出。		活動実績 (当初見込み)	人	①10,000 ②57,984	①12,000 ②62,157	①12,000 ②40,965	—
							①12,000 ②60,071	①12,000 ②51,561
単位当たりコスト	$9,370,000\text{円} / 12,000\text{人} (\text{実績額} / \text{人数}) = 780\text{円}①$ $3,860,000\text{円} / 40,965\text{人} (\text{実績額} / \text{人数}) = 94\text{円}②$		算出根拠	①の単価については、一般参観を10日間行うために要した金額を参観定員から算出した。 ②の単価については、一般参観を行うにあたり、応募葉書処理、抽選等に要した金額に応募者総数から算出した。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	参観支援業務	10	10					
	応募者データ入力業務	3	4					
計	13	14						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	効率的広報により国民に周知し、応募者の拡大に努めるとともに、ボランティア説明員の活用等による参観内容の一層の充実を図る。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	迎賓施設の役割、接遇については、国民の理解を深めるため、一般参観を適切に実施すべき。予算の執行については、赤坂迎賓館の調達方法を参考とし、更なる運営の効率化を図るべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	今後とも、迎賓施設の役割等について、国民の理解を深めることを基本としつつ、運営方法等を更に検討することにより、引き続き経費の効率的使用に努めることとする。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

【少額随意契約先】	単位: 百万円
テーブルセット代 (株)ロイヤルホテル	0.17
生け花代 華道本能寺	0.08
生け花代 五明流	0.08
生け花代 小松流	0.08
生け花代 専慶流	0.08
生け花代 東福寺未生流	0.08
生け花代 いけばな京花傳	0.08
生け花代 都未生流	0.08
生け花代 (社)古流松藤会	0.08
生け花代 小原流	0.08
生け花代 遠州	0.07
生け花代 洛陽未生流	0.07
生け花代 清水流	0.07
合計	1.10

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)日商社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会場設営等 経費	施設保護(養生)、金属探知機・仮設 トイレ等の設営、誘導案内の作成・設 置など	5.52			
人件費	運営管理・受付誘導案内スタッフ	2.82			
広報経費	広報ポスター・チラシの作成・掲出	1.04			
計		9.37	計		0
B.(株)ヴォーグ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	はがき整理、データ入力・照合、抽選処理	3.31			
雑費	発送費用	0.55			
計		3.86	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日商社	参観者募集の告知、館内の設営、参観期間中のスタッフの配置・運営等	9.37	1	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ヴォーグ	応募葉書の収集、抽選処理、応募者への通知等	3.86	3	—